産業・科学革新人材事業（INSIGHT）
令和 8 年度公募選考において重視した審査の観点

令和 8 年 10 月
産業・科学革新人材事業運営委員会
プログラムオフィサー　久世 和資
副プログラムオフィサー　大野 英男

本事業は、先端技術分野を対象として、産学協働による研究開発、人材育成、大学改革などの取り組みを一体的・総合的に支援する事業です。クロスアポイントメント制度などを活用した大学と企業等の双方での研究者・技術者の人的交流・人材流動の促進や、大学の人事給与マネジメント改革を通じて、研究開発や人材育成に対する産業界から大学への継続的な投資を呼び込み、産学協働による持続的な研究開発および人材育成の体制構築を目指して推進します。

令和 8 年度公募選考においては、選考の観点を具体化した以下の点を重視して審査を行い、採択プロジェクトを選定いたしました。

1. 民間投資拡大と事業終了後の自走化

   支援期間終了後の自走化・持続的発展を実現する観点から、参画機関による経営レベルでの強いコミットメントの下、資金面での投資拡大に加え、人材や研究開発面での継続的な経営資源の投入を含む民間投資拡大に向けた計画が具体的かつ実効的であるか。

2. 大学全体への波及・展開

   本事業で支援する特定の研究分野・研究組織に留まる取組ではなく、本事業を通じて構築される制度、仕組み及び体制が大学全体へ波及・展開される明確な道筋が示されているか。

3. 大学・企業双方の経営層による継続的な関与と中長期的な産学協働体制

   本事業を単なる共同研究や人材獲得の仕組みに留めることなく、大学・企業双方の経営層が継続的に関与し、組織的な意思決定及び資源配分を伴いながら、人的交流を起点とした中長期的な産学協働の発展につながる推進体制及び方策が示されているか。

4. 大学全体による組織的推進体制

   個々の研究者と企業との産学連携に依存した取組に留まることなく、大学組織全体として産学協働に関与し、研究開発・人材育成を継続的に推進するための組織体制が構築されているか。

5. 研究開発と人材育成の一体的推進

   研究開発と人材育成がそれぞれ独立した取組ではなく、産学協働による研究開発を通じた人材育成となるよう、研究開発と人材育成の一体的な実施方策及び連携効果が明確に示されているか。

6. 人事・給与マネジメント改革とインセンティブ設計

   研究者・技術者等の評価・処遇について、産学協働による研究開発、人材流動、外部資金獲得等の

実績が適切に評価されるよう、人事・給与マネジメント改革の具体的内容及び実施時期が明確に示されているか。また、研究者・技術者等に対するインセンティブ付与の仕組みが具体的に示されているか。

7. 人的交流・人材流動の拡充

大学・企業間の人的交流・人材流動について、本事業の趣旨を踏まえ、インターンシップ等に限定されない研究者・技術者の双方向の交流を拡充することを前提に、具体的な目標人数及び実施計画が示されているか。また、研究開発課題ごとにクロスアポイントメント等を活用した大学・企業双方の雇用に基づく人材交流を実施するという公募要件を踏まえた計画となっているか。

8. 設備投資の妥当性と人的投資とのバランス

設備投資について、その必要性及び本事業との関係性が整理されており、人的交流・人材流動の促進や産学連携を担う人材への投資とのバランスがとれているか。